

## 飯館村消防団 秋季検閲式 決意を新たに村を守り続けます

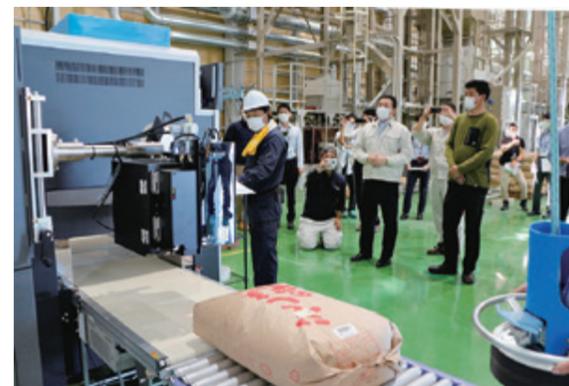


検閲官を務めた杉岡村長は「服装・装備品がよく整い機敏に活動ができていた」と講評しました

10月10日、南相馬消防署飯館分署前で、飯館村消防団の秋季検閲式が行われました。式には、団員・女性消防隊・役場消防隊ら合わせて92人が出席し、緊張感が漂う中、来賓を前に検閲に臨みました。

今年1月からの火災発生状況は1件のみです。赤石澤傳団長（飯樋町）は、「日々の健康管理に努めながら、災害を過去のものとして、団全員が生きがいをもって業務にあたってほしい」と、消防活動への思いを団員に呼びかけました。

## 「飯館村ライスセンター」で 村内産米の検査を初実施



杉岡村長、生産者の青田豊実さん（前田）ら多くの関係者が、村内産米の初の検査に立ち会いました

春に開所した「飯館村ライスセンター」で、9月30日、村内産米としては初めて「あぶくもち」の検査が行われ、関係者がその様子を見守りました。検査に合格したこのもち米は、加工品の試作に用いられます。

飯館村産の米は食用米・飼料用米共に、全量全袋検査で基準値未満を確認し出荷しています。この秋ライスセンターで検査を受ける村内産米は、食用米・約105t、飼料用米・約730t。三瓶産業振興課長は「被災地の復興が進んでいることを実感しながら、おいしく召し上がっていただきたい」と笑顔を見せました。

## 初秋のはやま湖畔で ウォーキング交流会を開催



木々が色づき始めた湖畔の道を元気に歩きました。さわやかな晴天にも恵まれ景色も満喫

10月10日、「令和3年度ウォーキング交流会」が開催されました。飯館村教育委員会・いいいてスポーツクラブ・飯館村公民館の主催です。会場は、大倉地区のはやま湖を望む10kmコースと8kmコースで、17人の参加者が、体力に合わせてコースを選び、それぞれのペースで歩きました。申し込んだグループごとに距離を取って昼食をとるなど、協力して感染症対策も行いました。見る場所によって変化する湖畔の風景を、ゆったりと楽しむことができました。

## 水道・農排水事業の審議会が 村へ答申



大越会長（右端）と長谷川副会長（左端）が役場を訪れ、杉岡村長に答申書を手渡しました

『第8次飯館村水道事業運営審議会・飯館村農業集落排水事業運営審議会』が、10月1日、村へ答申をしました。同審議会は、水道使用料及び水道メーター使用料、農業集落排水処理施設使用料の見直しについて村から諮問を受け、検討を行ってきました。

この日は、同審議会の大越憲一会長（深谷）と長谷川圭子副会長（宮内）が役場を訪れ、杉岡村長に答申書を手渡しました。今回の答申では、現在のメーター使用料とメーター器交換費用に差異が生じており、整合を図る必要があるとしています。

## 市町村対抗ソフトボール大会 雨の中の激闘となった1回戦



雨の中の厳しい試合の後も、このさわやかな笑顔。チームワーク抜群の明るいチームです

第8回市町村対抗福島県ソフトボール大会が開幕。飯館村チーム（星貴弘監督／上飯樋）は、10月16日、相馬光陽ソフトボール場で1回戦に臨みました。

1回戦は下郷町チームとの対戦。降雨によりグラウンドが泥水に覆われる厳しいコンディションでの試合となりました。相手チームの投手の好投にも苦しめられ、本領を発揮できず13対0の悔しい敗戦を喫しました。この経験が来年の活躍につながることを期待しています。おつかれさまでした。

## きこり・あいの沢の再生へ プロジェクトチームが発足



飯館村振興公社や村の関係部署の職員が今後のよりよい活用に向けて改修等の方針を話し合います

10月6日、第1回『きこり・あいの沢プロジェクトチーム会議』が、村役場の会議室で開かれました。

『村民の森あいの沢』の施設は、東日本大震災や全村避難の影響などで損傷が進み、キャンプ場の施設などが解体され、震災前の機能が失われています。

この会議では、村の重要な観光資源でもあるこれらの活用を進めるために、きこり及びあいの沢の現状を見直し、必要な改修などを検討していきます。